

昭和産業グループのご紹介



2024年2月21日

昭和産業株式会社

取締役常務執行役員 細井 義泰

I. What's 昭和産業？

II. 当社グループの強み

III. 業績および成長戦略について

IV. 株主還元について

☆トピックス

Agenda

I. What's 昭和産業？

1. 昭和産業の成り立ち
2. 会社概要
 - ①国内事業所・生産3拠点
 - ②主なグループ会社
3. 事業概要
 - ①食品事業(製粉、製油、糖質)
 - ②飼料事業
 - ③その他

I. What's 昭和産業？



I-1. 昭和産業の成り立ち

■1935年 実業家 伊藤英夫により、昭和製粉株式会社を設立

■1936年(昭和11年)2月18日 **昭和産業株式会社**設立

本社:宮城県多賀城村、東京営業所:東京市京橋区宝町

資本金 :250万円

事業目的 :肥料、小麦粉、植物油脂の製造販売
後に飼料、飴の製造販売を追加

創業の旗印:「農産報国」

鶴見、赤塚、上尾などに次々と工場を建設

■1938年(昭和13年)3月

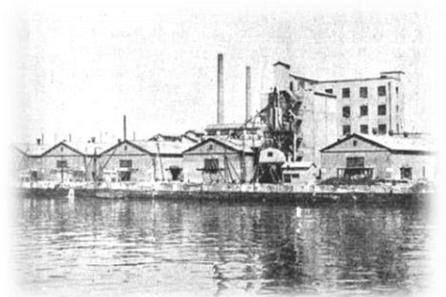
日本加里工業・日本肥料・昭和製粉を吸収合併

■1947年(昭和22年)8月

上尾工場でぶどう糖製造開始 → **現在のコア事業が揃う**



創業者 伊藤英夫



I-2. 会社概要

代表取締役社長執行役員
塚越 英行



事業内容・概況

小麦粉、植物油、糖化製品、二次加工食品などの製造販売、配合飼料の販売、倉庫業など

●資本金 14,293百万円 ●従業員数(連結) 2,863名 (2023年3月31日現在)

I-2. 会社概要 ①国内事業所・生産3拠点



神戸工場

神戸港の東にあり、パナマックス級の大型穀物船に対応したバースを有する西日本の製造・物流拠点

所在地:兵庫県神戸市
敷地面積:約73,000㎡
生産品目:小麦粉、プレミックス、植物油



鹿島工場

パナマックス級の大型貨物船が接岸できるバースを備え、物流面でも大消費地の東京から約80kmの好立地にある主力工場

所在地:茨城県神栖市（鹿島臨海工業地帯）
敷地面積:約390,000㎡（潮来ミックス分工場を含む）
生産品目:小麦粉、植物油、コーンスターチ・糖化製品、プレミックス



船橋工場

製粉工場を中心に小麦粉の二次加工を担う、首都圏の製造・物流拠点。敷地内にはRD&Eセンターを併設

所在地:千葉県船橋市
敷地面積:約77,000㎡（RD&Eセンターを含む）
生産品目:小麦粉、植物油、コーンスターチ・糖化製品、プレミックス

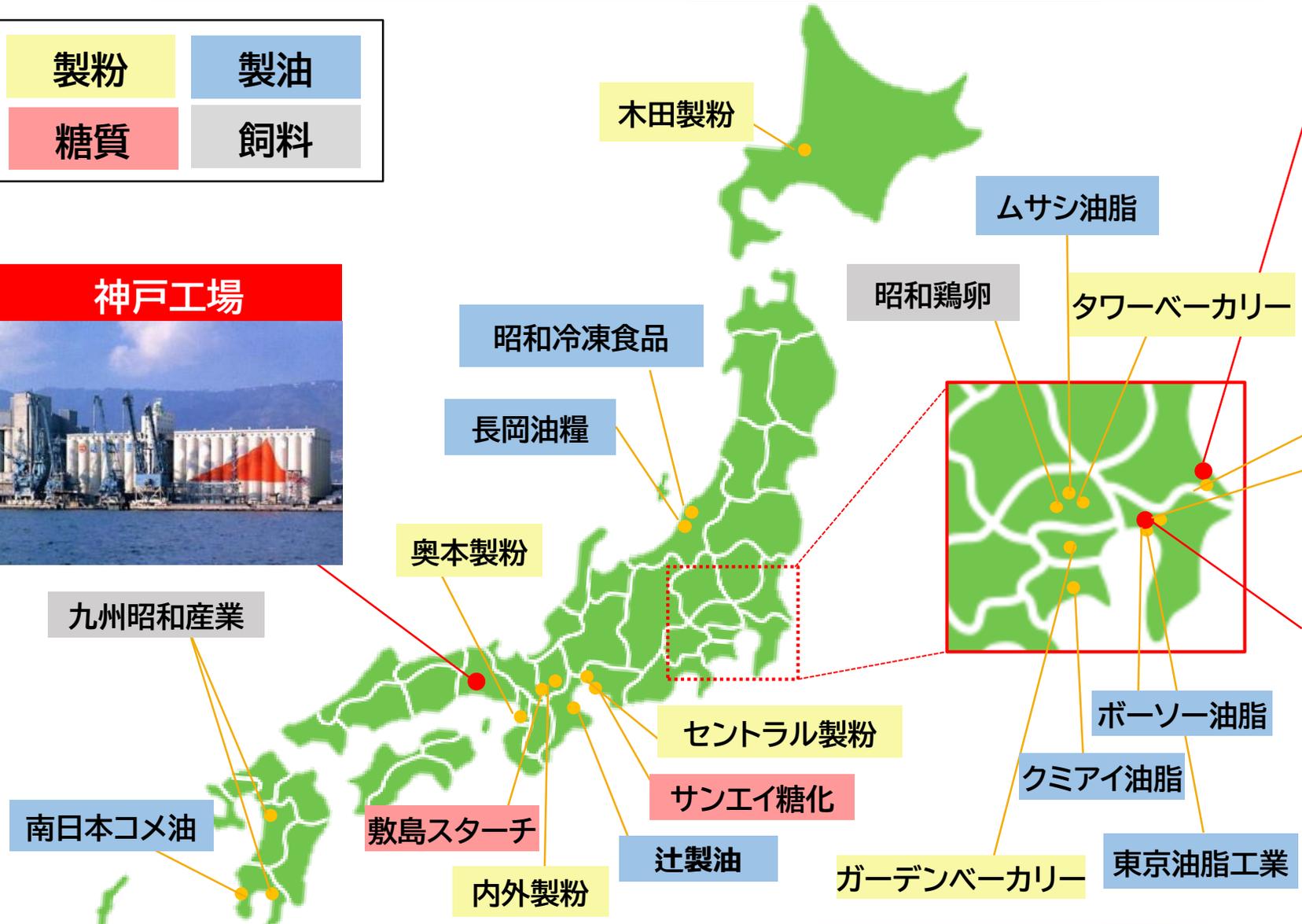


I-2. 会社概要 ②主なグループ会社

製粉	製油
糖質	飼料

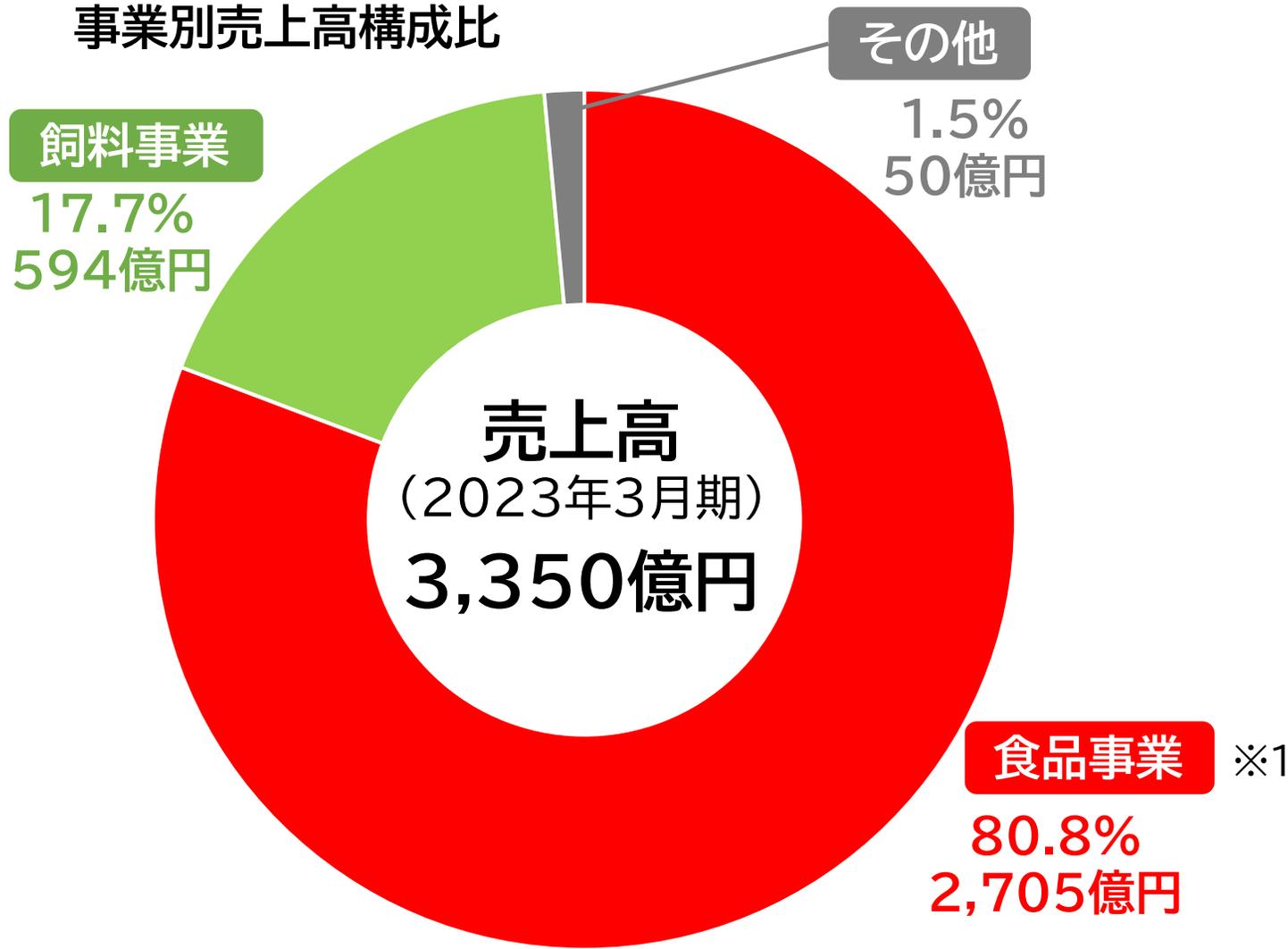


グランソールベーカリー
 スウィングベーカリー



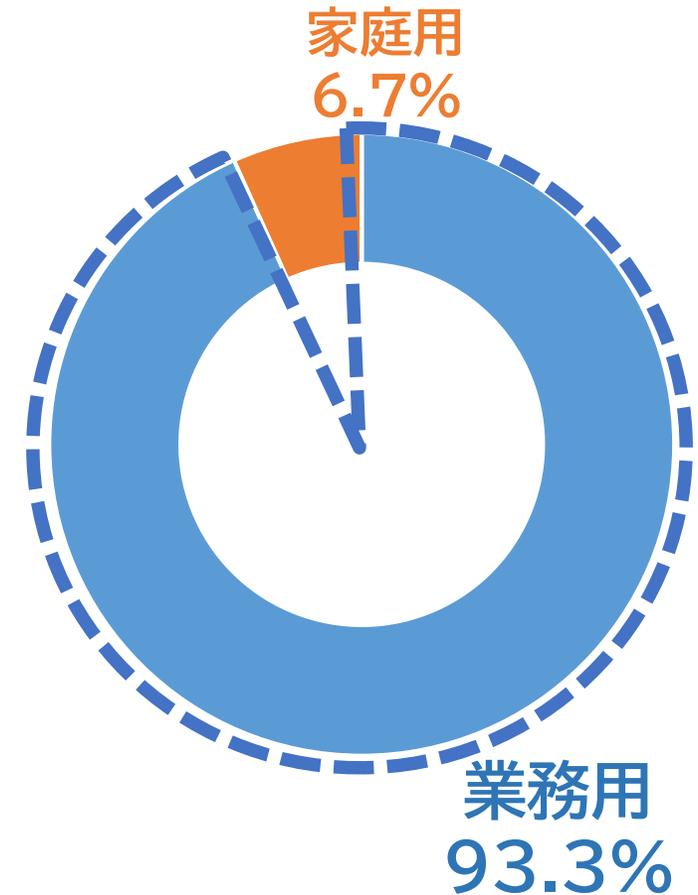
I-3. 事業概要

事業別売上高構成比



※1 食品事業:製粉、製油、糖質カテゴリの合計

業務用／家庭用比率 ※2



※2 昭和産業単体の食品セグメント売上高比

I-3. 事業概要 ①食品事業(製粉)

業務用	小麦粉		販売先	用途
	パスタ		▶食品メーカー ・製パンメーカー ・製麺メーカー ・製菓メーカー 等	▶製パン会社やコンビニのパン ▶即席麺やチルド麺 ▶ケーキや菓子
	プレミックス (小麦粉にでん粉や糖類、油脂などを予め混合したもの)			

家庭用	天ぷら粉		販売先	
	ホットケーキミックス パスタ 等		スーパー ドラッグストア 等	

I-3. 事業概要 ①食品事業(製油)

業務用

食用油

脱脂大豆・大豆たん白



販売先

- ▶食品メーカー
・マヨネーズメーカー
- ▶中食
・スーパーマーケット
・コンビニ
- ▶外食産業
・ファミリーレストラン
・居酒屋 等

用途

- ▶マヨネーズ、ドレッシング
- ▶スーパーなどの惣菜調理
- ▶レストランメニューの調理

家庭用

食用油

脱脂大豆・大豆たん白



販売先

スーパー
ドラッグストア 等

I-3. 事業概要 ①食品事業(糖質)



I-3. 事業概要 ②飼料事業

配合飼料

(とうもろこし+ふすま 等)



販売先

養鶏場、養豚場、養魚場等

鶏卵



販売先

スーパー、ドラッグストア 等

食品リサイクル率 **99.9%**

I-3. 事業概要 ③その他

倉庫業

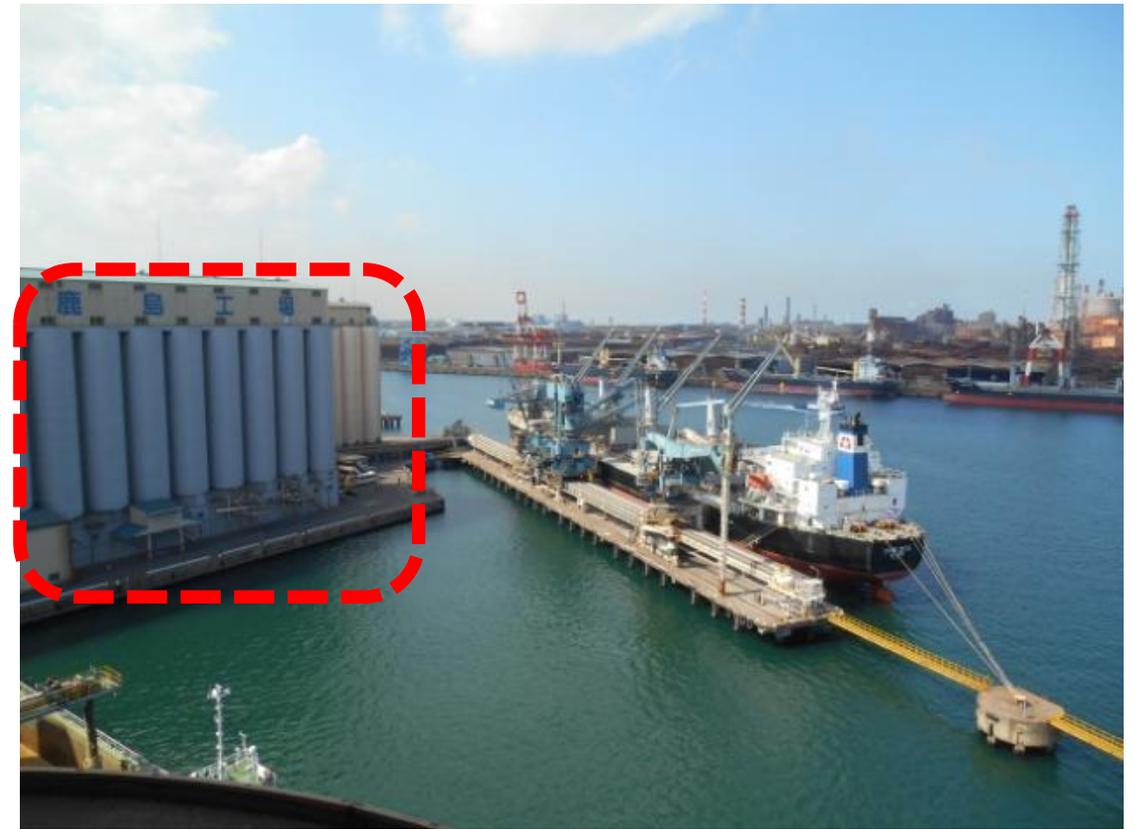
輸入穀物原料の取扱いなど

- ・**鹿島・神戸・船橋の各臨海工場に自社穀物サイロを所有**

⇒パナマックス級貨物船を接岸できる
バースを完備

- ・穀物サイロ収容能力
(昭和産業単体) 36.5万トン

- ・保管料・荷役料収入



Ⅱ. 当社グループの強み

1. 原料穀物

①輸入

②輸送

③荷受け・保管

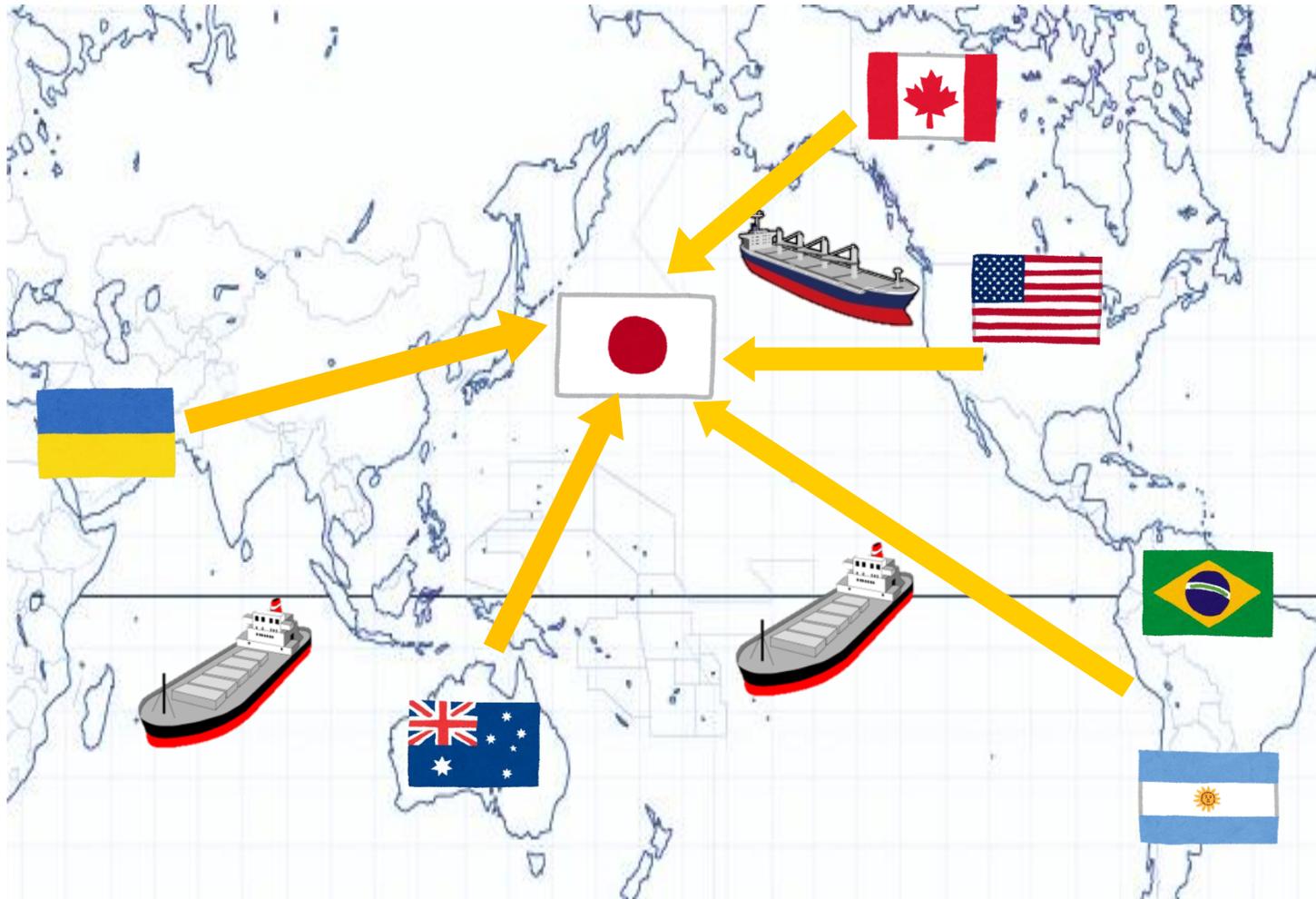
④原料穀物から一般消費者まで

2. 独自のビジネスモデル

3. 穀物ソリューション・カンパニー

II-1. 原料穀物 ①輸入

4種の穀物を扱う食品メーカー



II-1. 原料穀物 ②輸送

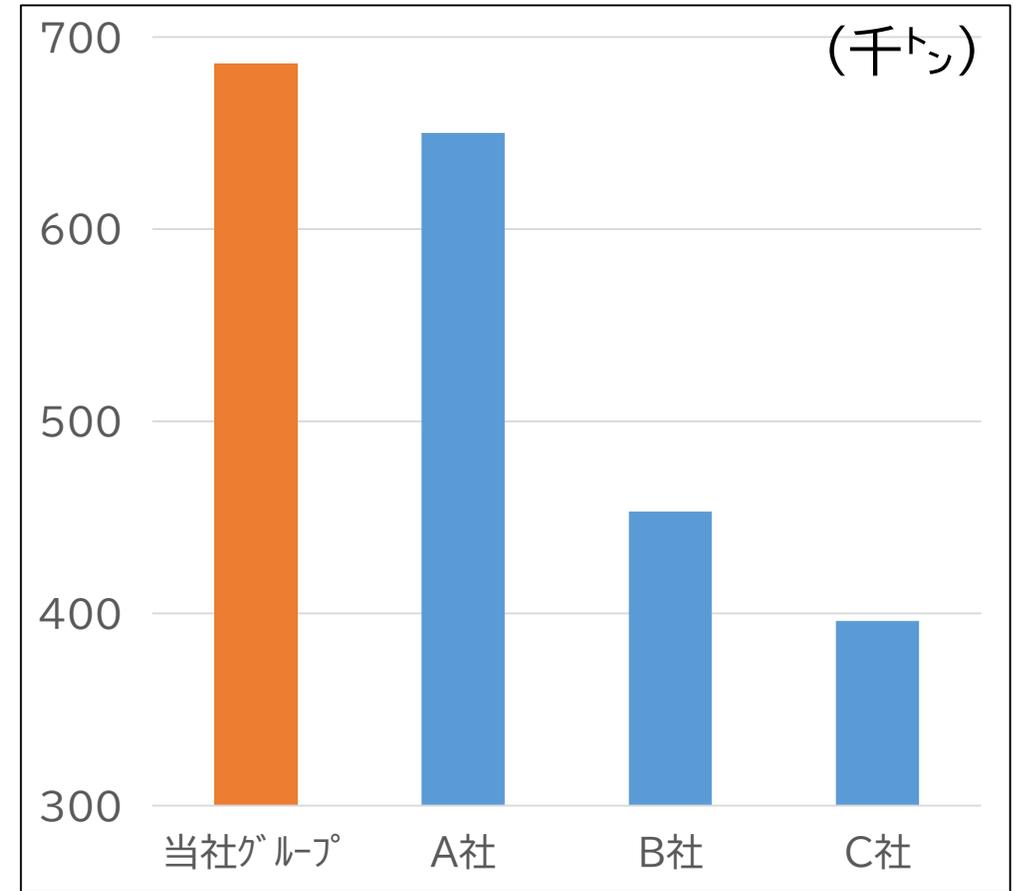


Ⅱ-1. 原料穀物 ③荷受け・保管



【鹿島工場の専用バースと穀物倉庫(サイロ)】

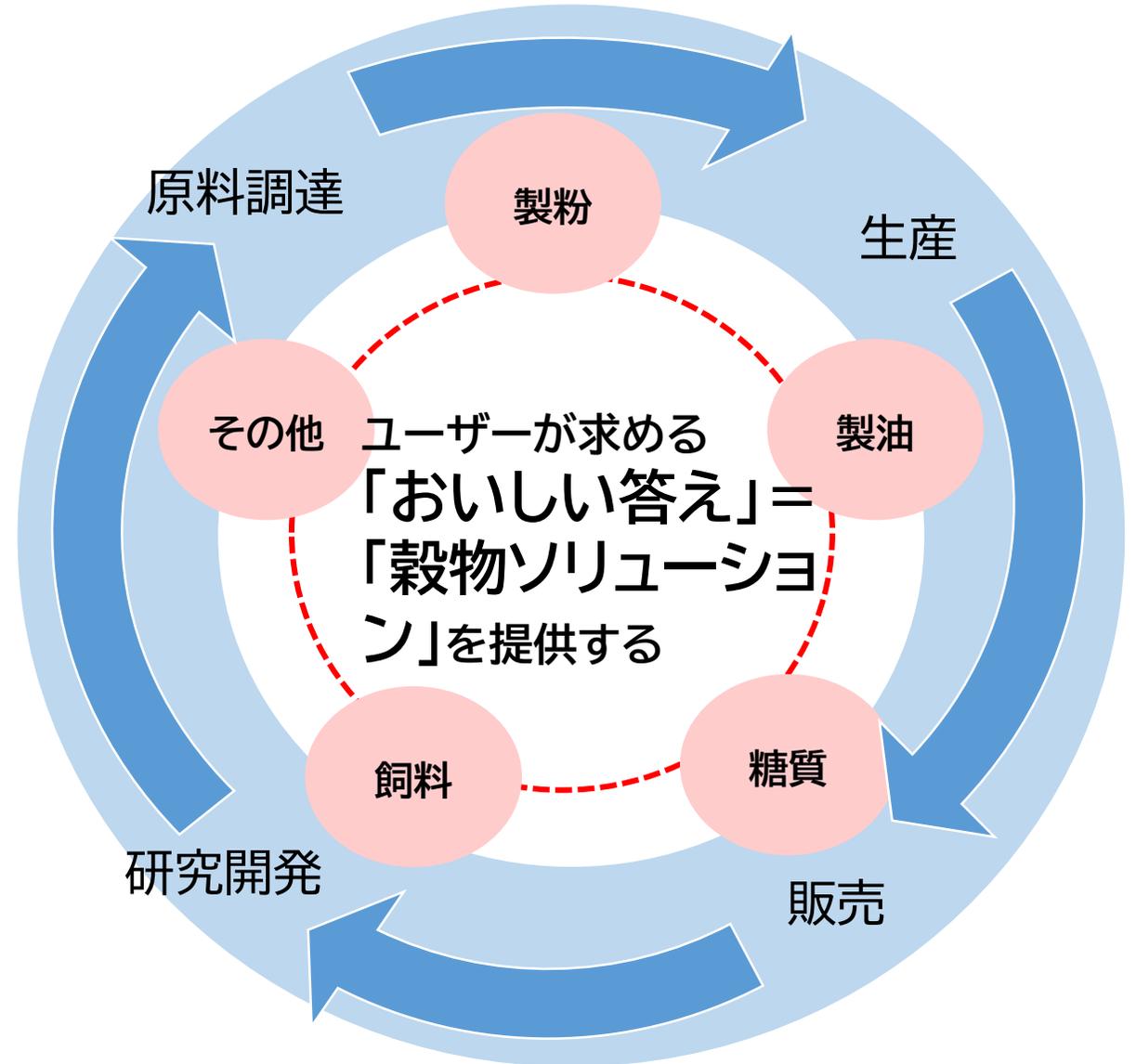
【穀物サイロ収容能力ランキング(自社調べ)】



Ⅱ-1. 原料穀物 ④原料穀物から一般消費者まで



II-2. 独自のビジネスモデル



II-2. 独自のビジネスモデル



II-3. 穀物ソリューション・カンパニー

私たちは、
穀物ソリューション・カンパニーです。



穀物ソリューション・カンパニー

SHOWA

昭和産業グループ

● 昭和産業グループにおける「穀物」とは？

- ▶ 小麦、大豆、菜種、トウモロコシの4種類を扱っています。
- ▶ 食品メーカーとして穀物の取扱量は日本一(当社調べ)

● 穀物ソリューション・カンパニーとは？

- ▶ 弊社グループは多種多量の穀物から小麦粉、天ぷら粉等のプレミックス、植物油、大豆たん白、糖化製品、さらには畜産用の配合飼料まで、余すことなくおいしさをつくる材料にしてお客様にお届けしています。
- ▶ 「おいしい答え」=「穀物ソリューション」をお届けするのが私たちの使命です。

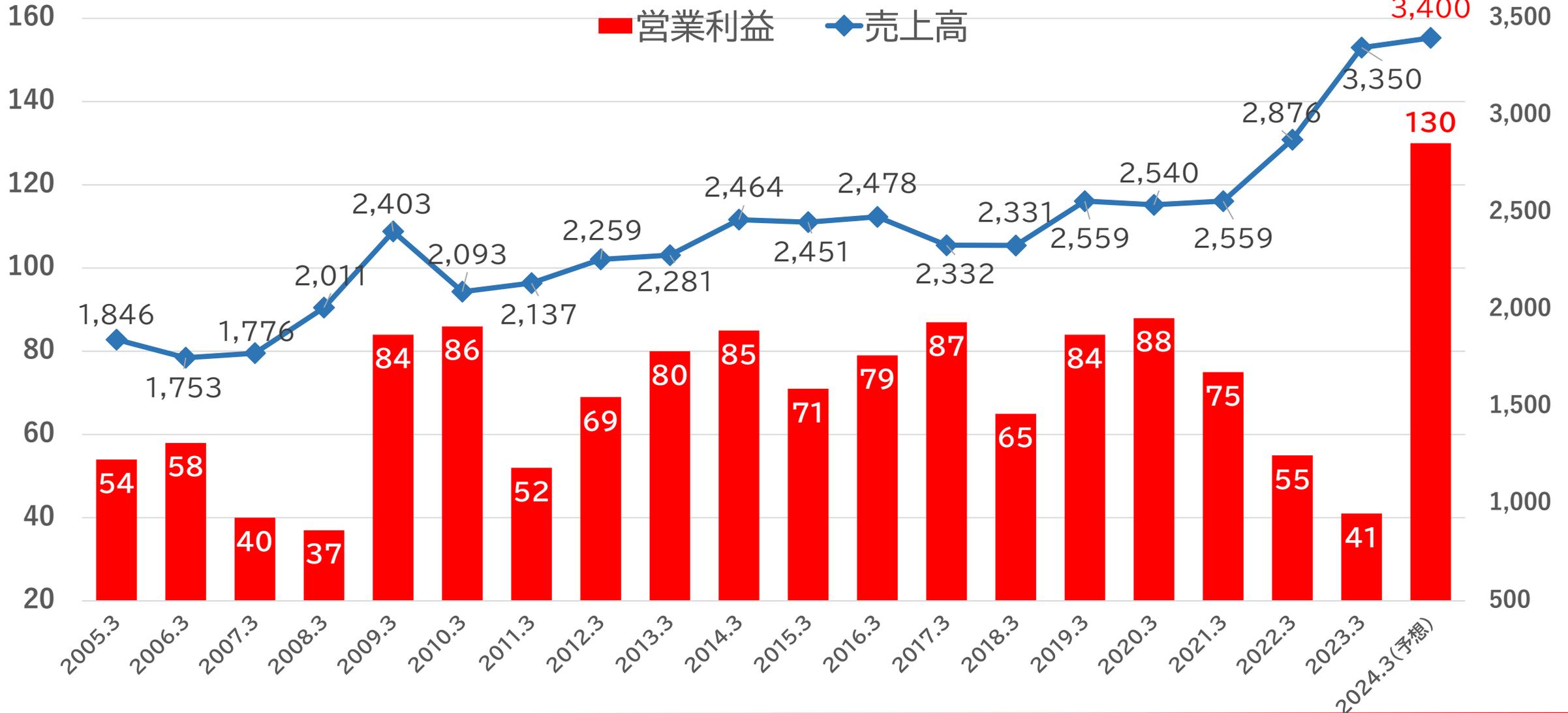
Ⅲ. 業績および成長戦略について

1. 売上高・営業利益の推移
2. 2024年3月期第3四半期 業績
3. 長期ビジョンの概要
4. 中期経営計画23-25概要
 - ▶ 基盤事業の強化
 - ▶ 事業領域の拡大
 - ▶ 環境負荷の低減
 - ▶ ステークホルダーエンゲージメントの強化

Ⅲ-1. 売上高・営業利益の推移

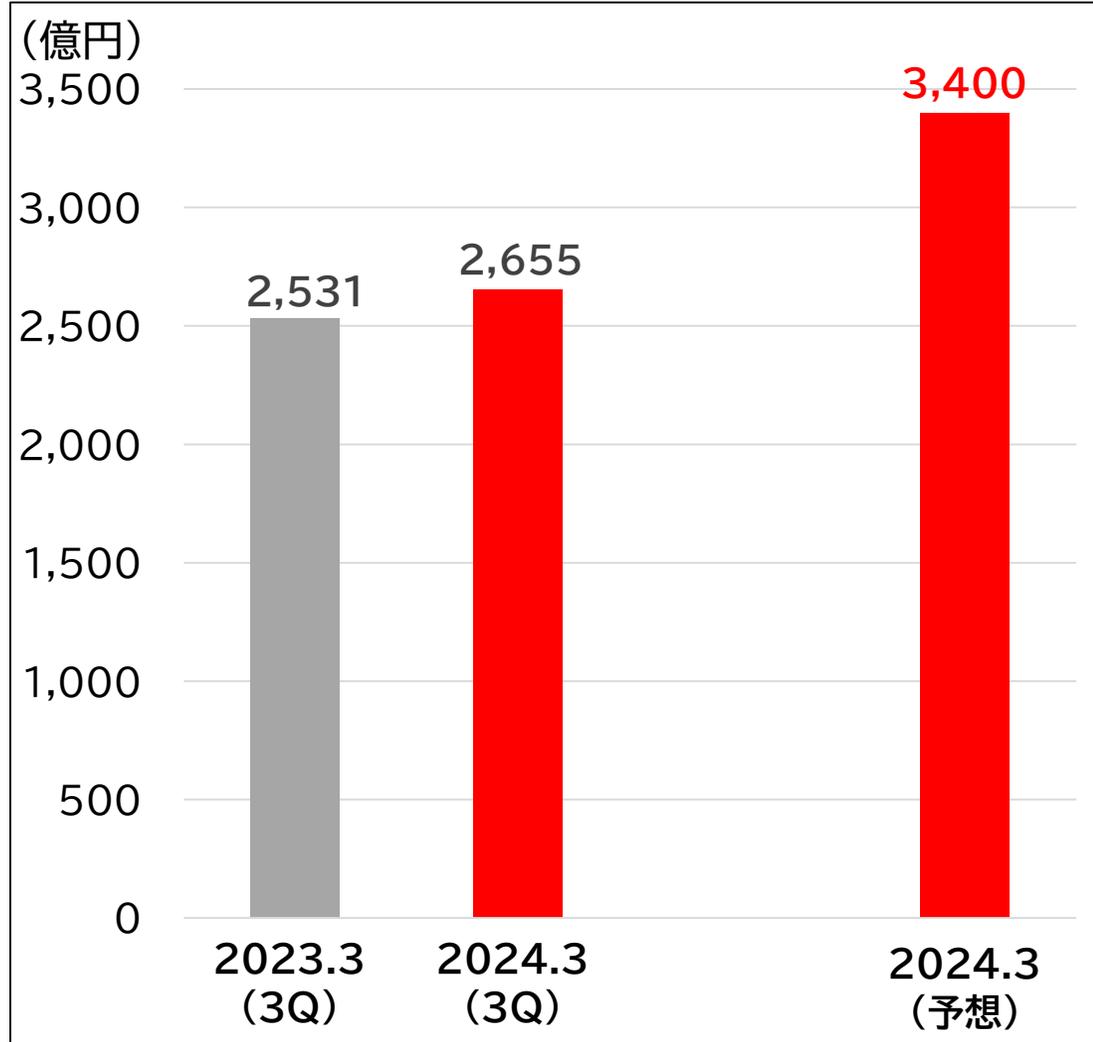
営業利益(億円)

売上高(億円)

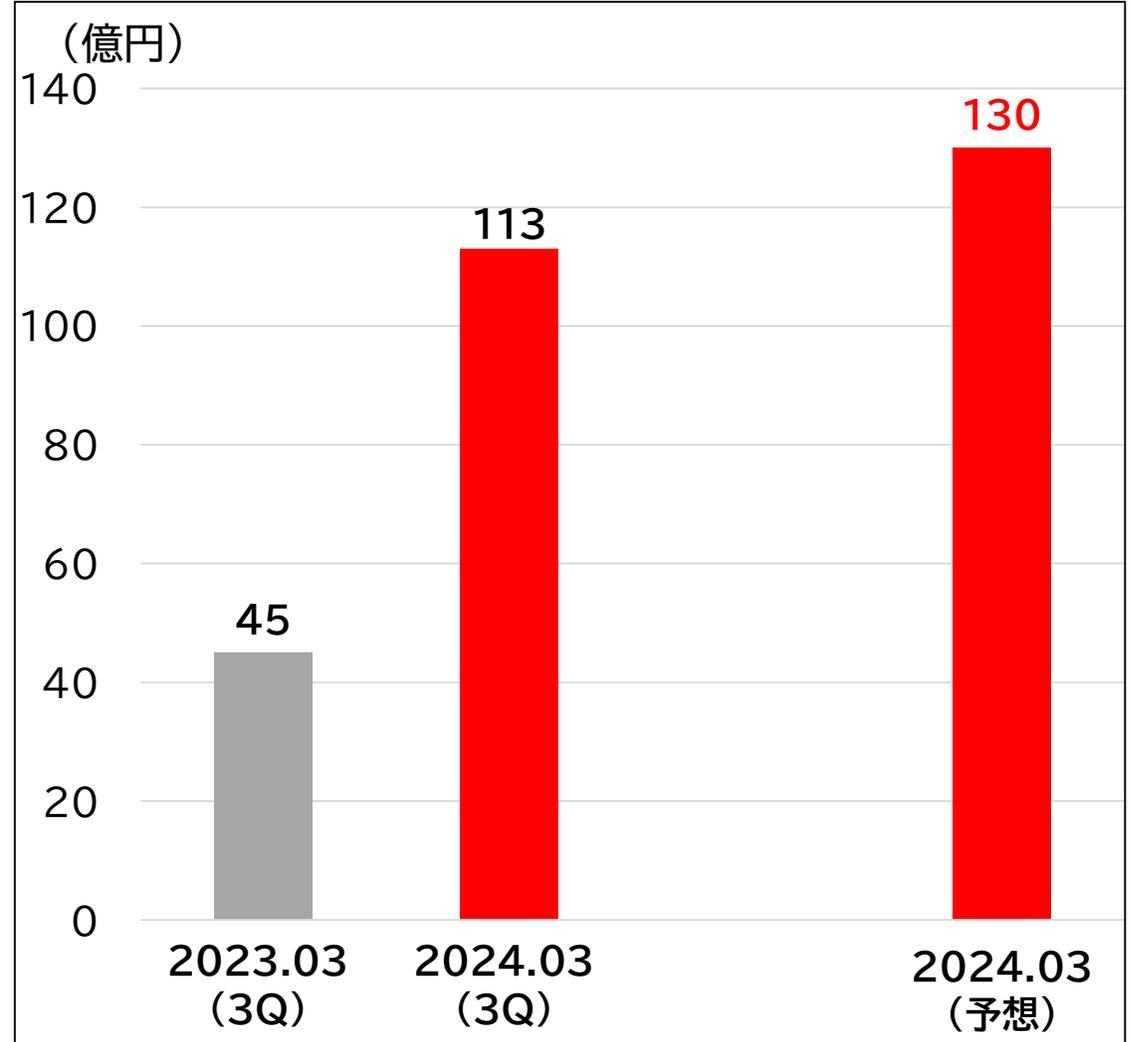


Ⅲ-2. 2024年3月期第3四半期 業績

売上高



営業利益



Ⅲ-3. 長期ビジョンの概要

長期ビジョン“SHOWA Next Stage for 2025”の再定義

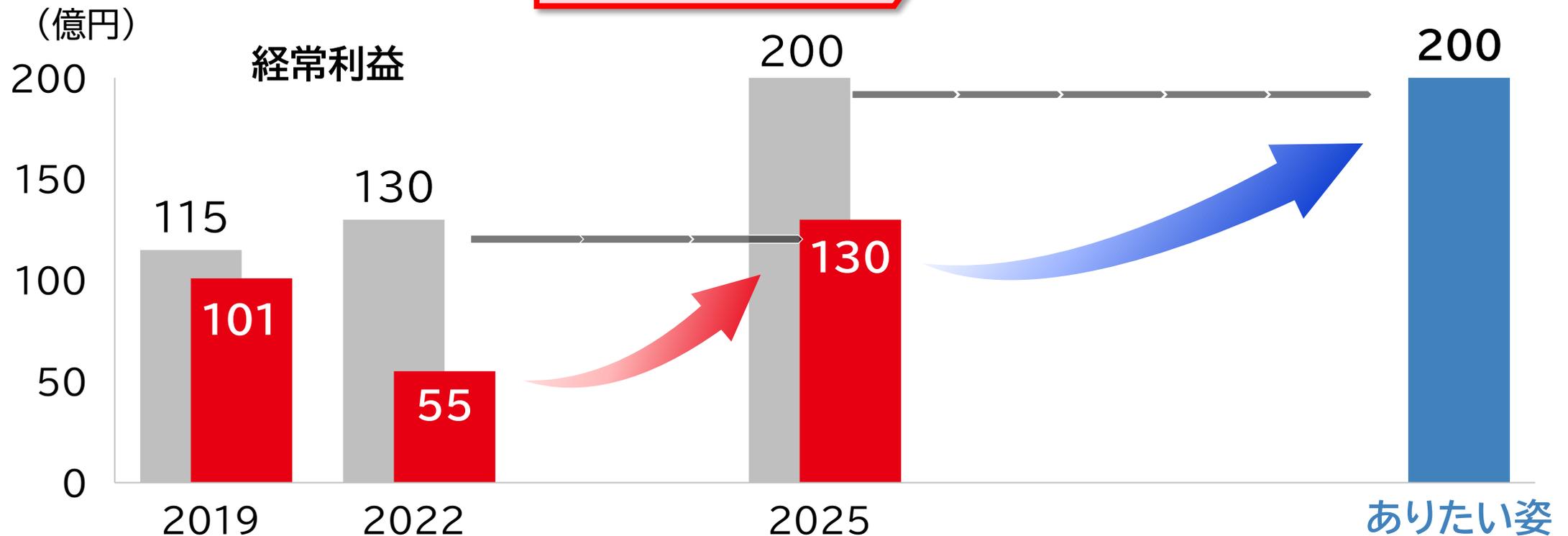
1st Stage
 中計17-19
 【足場固め】

2nd Stage
 中計20-22
 【確立】

3rd Stage
 中計23-25
 【収穫】+【SHIN-KA】

当初計画

修正後



Ⅲ-4. 中期経営計画23-25概要

SHOWAの“SHIN-KA”宣言 ~90年、そしてその先へ~

基本コンセプト



5つの基本戦略

- ① 基盤事業の強化
- ② 事業領域の拡大
- ③ 環境負荷の低減
- ④ プラットフォームの再構築
- ⑤ ステークホルダーエンゲージメントの強化

数値目標

◇ 経常利益	130億円
◇ ROE	7.0%以上
◇ ROIC	4.0%以上
◇ CCC	75日
◇ NET D/Eレシオ	0.6以下

Ⅲ-4. 中期経営計画23-25概要 ▶基盤事業の強化

事業間シナジーをさらに発揮しやすい営業組織へ



お客様: 外食、量販店、加工メーカー、コンビニエンスストア 等



Ⅲ-4. 中期経営計画23-25概要 ▶基盤事業の強化

神戸工場 製粉立体自動倉庫の更新 ～物流機能の改善、効率化～

「2024年問題」「ホワイト物流」への対応

- ▶製造から保管、ピッキング、出荷までをコンピューターによる一元管理
- ▶人手を要している作業を自動化・省人化し、積込み時間・待機時間短縮を図る
- ▶持続可能な物流の実現に向け、環境負荷低減、物流最適化を推進

【新倉庫の概要】

所在地	昭和産業株式会社 神戸工場内 (神戸市東灘区御影浜町5番地)
延床面積	3,900㎡(倉庫、出荷場等)
投資総額	35億円
保管品目	小麦粉製品(パレット積み紙袋品)
立体自動倉庫 収容力	190千袋(4,750トン)
稼働	2026年2月

【完成予想図】



Ⅲ-4. 中期経営計画23-25概要 ▶事業領域の拡大

鶏卵加工工場が稼働。台湾初の生食可能な卵を販売



Ⅲ-4. 中期経営計画23-25概要 ▶環境負荷の低減

鹿島工場 バイオマス発電ボイラの導入 ～ CO₂排出量削減～

【環境目標】 2025年度 30%以上削減、2030年度 46%以上削減

- ▶木質チップなどの再生エネルギーを活用したバイオマス発電ボイラの導入
 - ⇒ 年間約3.7万トンのCO₂排出量を削減
 - ⇒ 昭和産業グループ全体のCO₂削減率は37%以上となる見込み（2013年度比）

【バイオマス発電ボイラの概要】

所在地	昭和産業株式会社 鹿島工場内 (茨城県神栖市東深芝6番地)
設備タイプ	木質チップ焚き バイオマス発電ボイラ 能力: 蒸気30トン/h、発電1,500Kw
CO ₂ 削減量	約3.7万トン/年
設備投資金額	約35億円
稼働予定	2026年度

【(2009年)鹿島工場に導入したバイオマスボイラ】



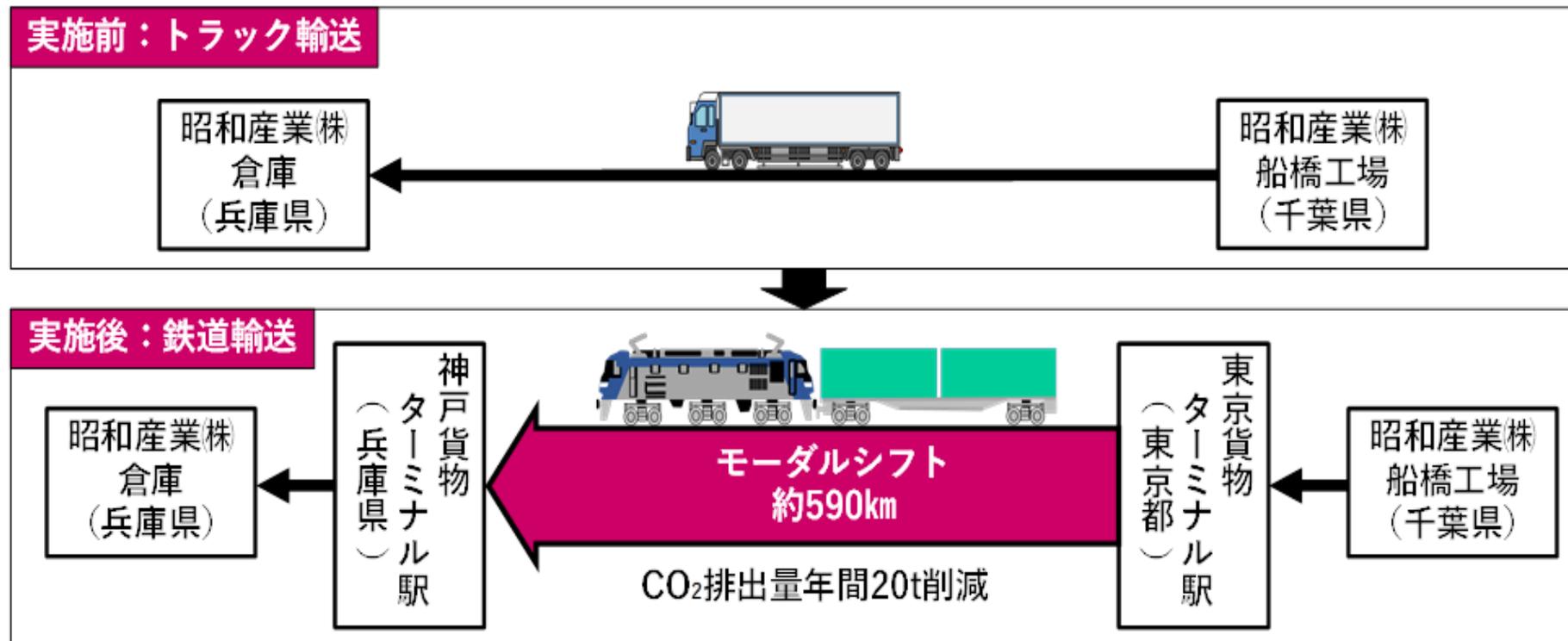
Ⅲ-4. 中期経営計画23-25概要 ▶環境負荷の低減

物流に関わる環境負荷低減と物流業務の効率化への取り組み

■(株)明治と昭和産業の鉄道コンテナ共同利用による物流のモーダルシフト開始

～当該輸送におけるCO₂排出量を約70%削減～

図1



Ⅲ-4. 中期経営計画23-25概要 ▶ステークホルダーエンゲージメントの強化

統合報告書発行(2023年10月2日発行)

- ・弊社WEBサイトにて公開
<https://www.showa-sangyo.co.jp/ir/library/integrated-report/>
- ・将来に向けた価値創造ストーリーを積極的に開示



Ⅲ-4. 中期経営計画23-25概要 ▶ステークホルダーエンゲージメントの強化



- ・「新企業CM」の放映
- ・SNSによる積極的な発信



昭和産業SNS公式アカウント



- ・「穀育」イベントの開催(船橋工場)
- ・WFPやフードバンクを通じた支援



- ・「健康経営優良法人2023」認定
 - ✓ ウォーキングイベント
 - ✓ 健康朝食フォトコンテスト
- ・「昭和産業 体験型内定式」天ぷら研修



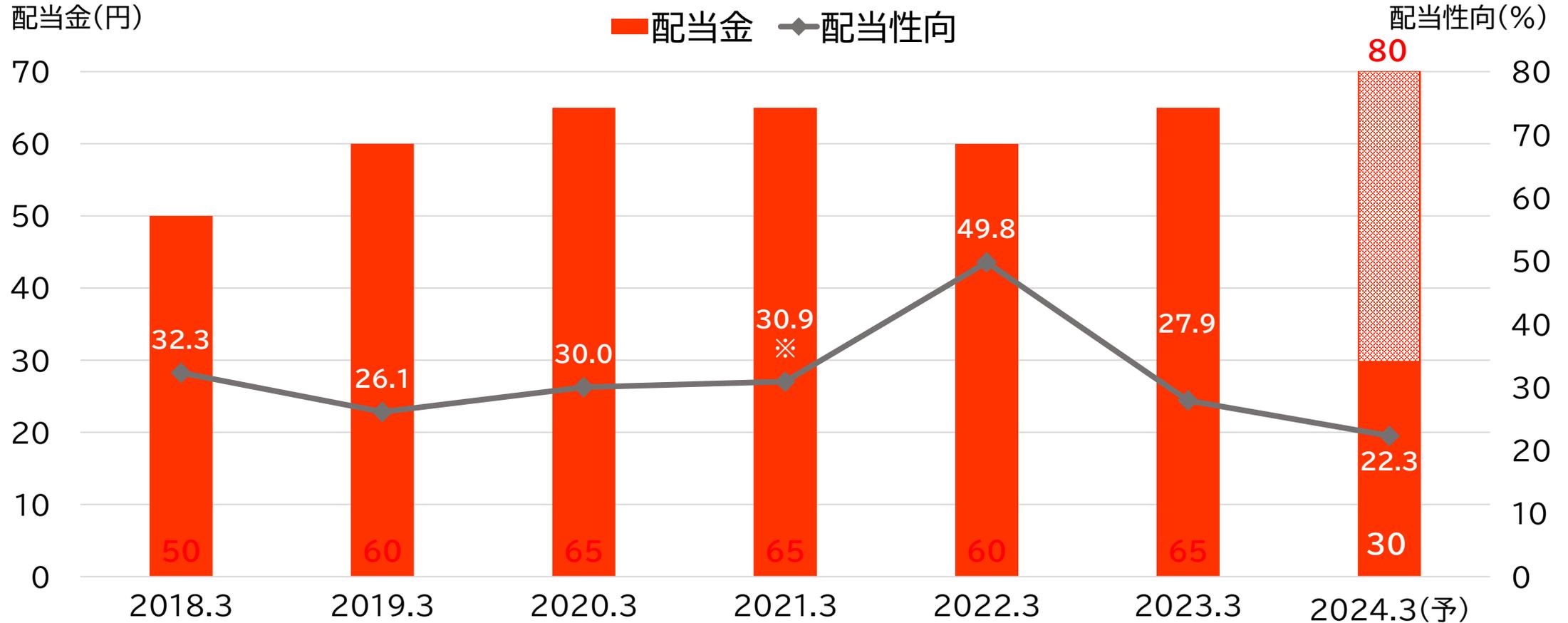
Agenda

IV. 株主還元等について

1. 株主還元（配当）
2. 株価と時価総額の推移
3. 株主優待について

IV-1. 株主還元(配当)

1株あたりの配当金・配当性向の推移



配当性向

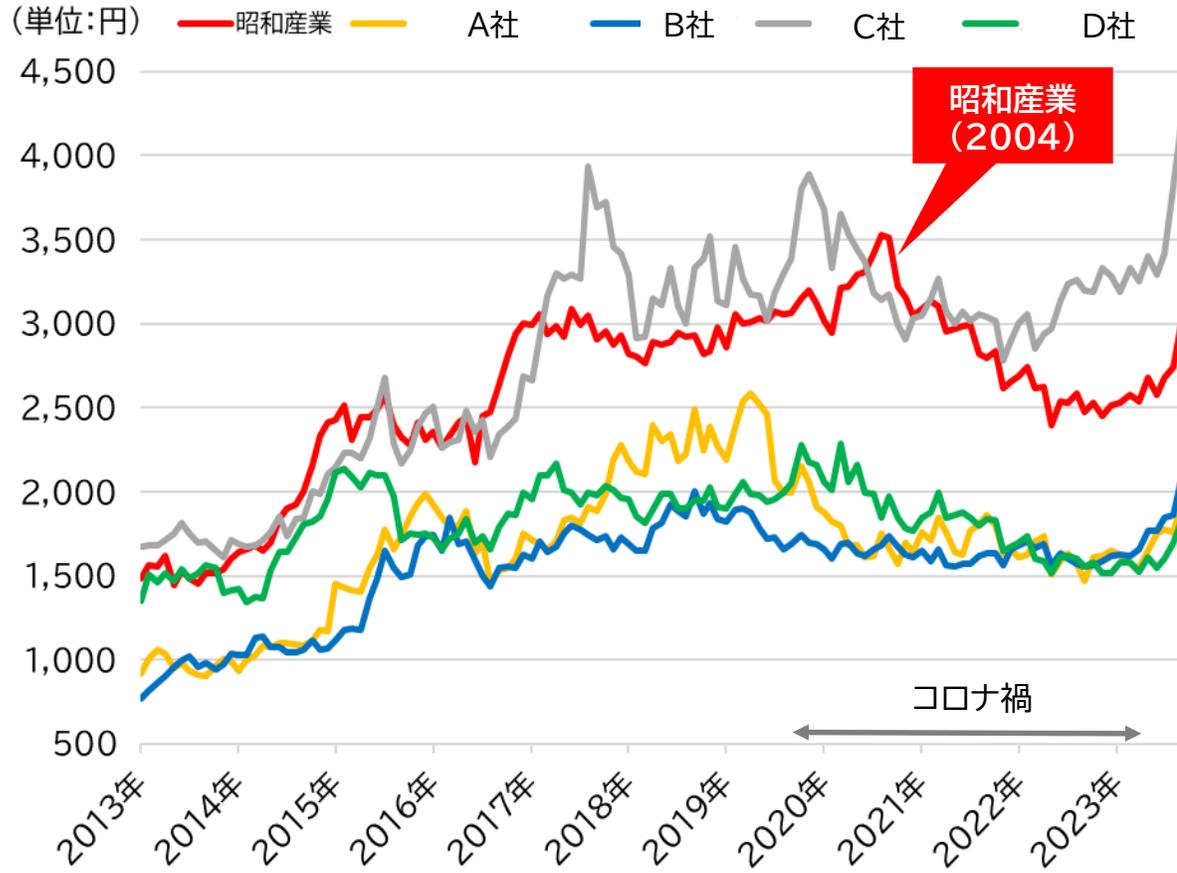
目標 : 30%程度

※2021年3月期の配当性向は、負ののれん発生益による影響を除く。
 ちなみに、負ののれん発生益による影響を含めた配当性向は20.3%

IV-2. 株価と時価総額の推移

株価の推移

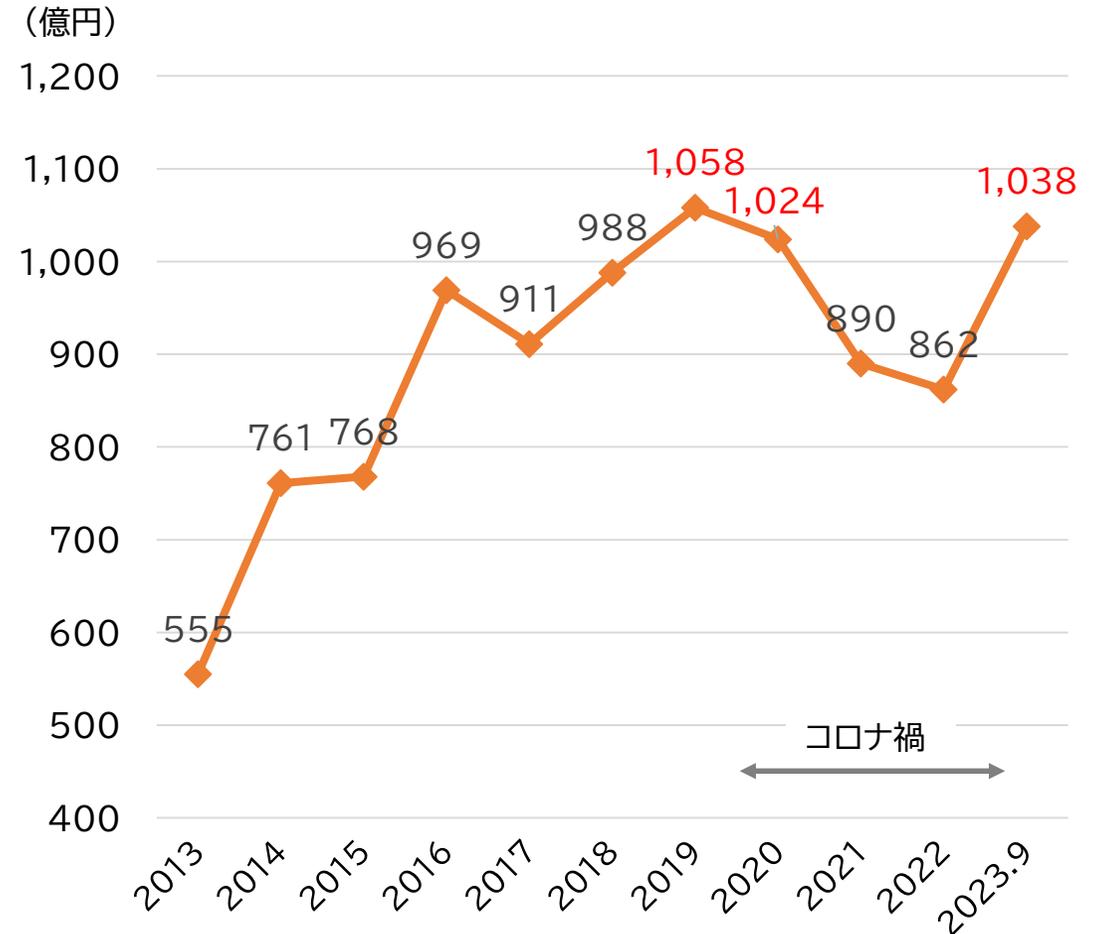
(2024年1月末時点)



※Yahooファイナンスより

時価総額の推移

(年度末終値ベース)



※当社調べ

IV-3. 株主優待について

■対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された100株以上保有の株主様

■優待内容:当社家庭用商品詰め合わせ

保有株式数	優待内容
100株以上 200株未満	1,000円相当
200株以上1,000株未満	3,000円相当
1,000株以上	5,000円相当

■発送時期

毎年6月下旬～7月上旬を予定

【商品イメージ】
 5,000円相当の例



【ケーキのようなホットケーキミックス】



▶2月3日の毎日放送「サタデープラス」

“ひたすら試してランキング”

ホットケーキミックス部門で **総合1位!!**

▶受賞をうけ、SNS(X)にて
受賞記念キャンペーンを実施

ひたすら試して
ランキング

毎日放送
『サタデープラス』
ホットケーキミックス部門
受賞記念
キャンペーン

5名様

総合
1位

セットも5名様に!

ケーキのようなホットケーキミックス 3箱
ココと深みのケーキシロップ 1袋

応募方法
① @showasangyo_co をフォロー
② この投稿をリポスト

2/13(火) 23:59まで



穀物ソリューション・カンパニー

SHOWA

昭和産業グループ

見通しに関する注意事項

本資料は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的なリスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。

また実際の業績等も本資料における見通し、計画等とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。

なお、将来における情報・事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、昭和産業グループは当中期経営計画を見直すとは限らず、またその義務を負うものではありません。

新たな経営管理指標として①ROIC、②CCCを導入し、財務KPIとして進捗を管理

① ROIC	事業の評価、経営資源の配分ルールを整備し、事業ポートフォリオマネジメントを高度化
② CCC	改善項目を定めて月次で管理し、キャッシュフロー経営を推進

	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2025年度 計画
経常利益 (億円)	65	65	130
ROE (%)	3.9	7.1※1	7.0以上
ROIC※2 (%)	2.6	1.8	4.0以上
CCC (日)	78	91	75
NET D/Eレシオ	0.40	0.48	0.6以下

※1:2023年3月期は、ショーサン上尾ビルの売却により約52億円の固定資産売却益(特別利益)が発生

※2:ROICの定義 ROIC=税引後営業利益÷投下資本(有利子負債(Net)+自己資本)、税引後営業利益は、法人税等を営業利益の30%として計算